

# IWAKI PR Series 用 データメモリビューアー

ファイル名：PR-v.exe

Version 1.00

MD10075

【 取扱説明書 】



The Heart of Industry

## 製品説明

この製品は、イワキ ポータブル型高濃度残留塩素濃度計 PR シリーズ専用のユーザー支援アプリケーションです。

PR モニタで測定したデータメモリを、それぞれのモニタごとに管理することが可能です。モニタから PC に取り込んだデータメモリを表形式で表示し、印刷および [XLSX 形式※1](#) または [CSV 形式※2](#) ファイルとしてエクスポートすることができます。さらに [spot※3](#) ごとのフィルター機能、各項目のソート機能を有しており、お客様の環境に合わせた形でデータメモリの保存・管理を支援します。

また PR シリーズのパラメータ設定を変更する機能や、校正値データをコピーする機能を有しており、モニタから直接操作するよりも簡単に設定を変更することができます。

## 使用準備

### インストール

提供された ZIP ファイルを解凍してください。解凍されたディレクトリ内に、実行ファイル「PR-v.exe」と PDF 文書ファイル「PR-v\_Help.pdf」（この文書）、およびテキストファイル「ReadMe.txt」が有ることを確認してください。

最初にアプリケーションを起動すると、起動したディレクトリに「SYSTEM」ディレクトリが作成されます。このディレクトリには本アプリケーションの設定ファイルのほか、PR モニタから取り込んだデータメモリや、モニタ設定ファイルなどが保存されます。なお起動後にモニタを接続・登録しデータメモリを取込んだ場合、ファイル構成は以下のようになります。

ディレクトリ	ファイル名	内容
解凍したディレクトリ	PR-v.exe	ユーザー用アプリ実行ファイル
	PR-v_Help.pdf	アプリケーション取扱説明書
	ReadMe.txt	最初にお読みください
SYSTEM	PR-v.system	アプリ設定ファイル
	PR-v.devices	PR モニタ登録ファイル
	シリアル番号.config	モニタ設定ファイル
	シリアル番号.memory	モニタデータメモリファイル

### アンインストール

提供された ZIP ファイルを解凍したディレクトリごと削除してください。本アプリケーションプログラムは Windows のレジストリに変更を加えません。なお「SYSTEM」ディレクトリ以下には PR モニタから取り込んだデータが有ります。上記の表を参考に必要なデータを別の場所に保存してから削除してください。

## 操作説明

このアプリケーションは、ウィンドウ左側のモニタ選択エリア、右側のデータ表示エリアで構成されています。基本操作は、モニタ選択エリアの管理モニター一覧よりパネルを選択し、データ表示エリアに選択モニタのデータを表示することで印刷、エクスポートなどを行います。またモニタ設定の変更や校正データコピー機能などがあり、PR モニタ本体で操作するより簡易に操作することが可能です。



### PC と PR モニタを接続する

PR モニタを測定待機状態※4にして PC に USB 接続※5し、本アプリケーションを実行してください。または、本アプリケーションを実行した後に、測定待機状態にしたモニタを USB で接続※5してください。本アプリケーションが PR モニタを自動認識し、接続状態で起動します。なおモニタの電源がオフの状態、または測定待機状態以外で本アプリケーションを立ち上げた場合エラーが表示されますが、モニタを測定待機状態にして USB を接続し直すか、再読み込みボタンを押すとモニタとの接続を再確認します。



※複数台のモニタを接続するとき、他のモニタが通信中または多数の USB 機器を繋いでいる場合など、モニタの接続に失敗することがあります。数秒待って再読み込みボタンを押してください。※初めてモニタを繋いだ時、または新規のモニタを繋いだ時に PC<->PR モニタで通信を行いアプリケーションに登録されます。これにより画面左のモニタ選択エリアに繋いだモニタが表示され、操作可能となります。



### モニタ接続状態

モニタが接続された状態です。管理モニター一覧の左側に「接続中」と表示されているモニタが接続されています。モニタ接続状態では、モニタからデータメモリの取込みおよびモニタ設定の変更が行えます。なお複数台のモニタを登録している場合、接続中のモニタは管理モニター一覧のトップに表示されます。



### モニタ未接続状態

モニタが接続されていない状態です。PC に保存されているデータメモリ、モニタ設定の確認ができます。なお、モニタ設定画面では[モニタ管理名](#)及び[PC 時刻同期機能](#)のみ設定変更が可能です。

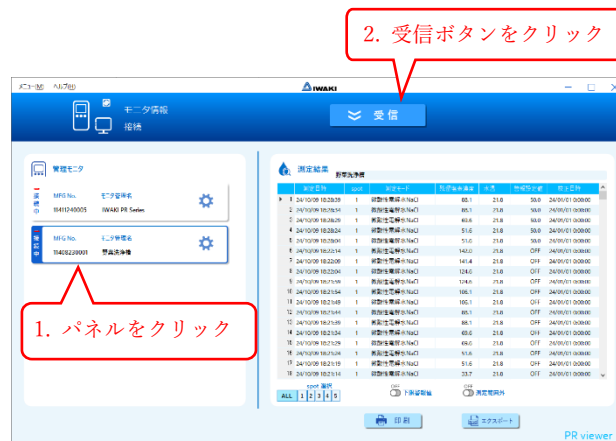
### データメモリを操作する

PR モニタのデータメモリを操作します。モニタ選択エリアから操作したいモニタのパネルをクリックすると、データ表示エリアにモニタから取り込んだ測定結果を表示します。この表からデータメモリを操作し、印刷およびエクスポートをすることができます。

※表示エリアにモニタ設定画面が表示されている時に他のモニタは選択出来ません。モニタ選択画面を閉じてから選択してください。

### データメモリの取り込み

モニタが接続された状態で、管理モニター一覧から接続中のモニタを選択し「受信」ボタンをクリックしてください。初回は全てのデータメモリ、2 回目以降は前回取込み以降に測定されたデータメモリのみを PC に取り込みます。



## データメモリ表示

管理モニター一覧からデータメモリを表示したいモニタを選択すると、データ表示エリアに測定結果表が表示されます。表示順は測定日時の新しい物から表示され、各データ列の項目をクリックすると、それぞれ昇順、降順でソートし直されます。

なお標準の表示設定は、全ての spot データ表示・下限警報表示・測定範囲外表示となっていますが、測定結果表下部の表示変更機能により、右記の様に切替えます。

表示変更機能	
spot 選択	選択した spot のみ表示
下限警報値スイッチ	下限警報表示切替え
測定範囲外スイッチ	測定範囲外表示切替え

※表示変更機能による表示切替えは、印刷機能・エクスポート機能にも反映されます。

※測定結果表の表示は、印刷・エクスポートに反映されます。出力したくないデータがある場合、ここで削除してください。なお並び替えや行削除を実行しても元データには影響を与えません。データを読み直せば元に戻ります。

	測定日時	spot	測定モード	残留性濃度	水温	警報設定値	校正日時
1	24/10/09 6:28:39	1	微酸性電解水NaCl	88.1	21.8	50.0	24/01/01 12:00:00
2	24/10/09 6:28:34	1	微酸性電解水NaCl	88.1	21.8	50.0	24/01/01 12:00:00
3	24/10/09 6:28:29	1	微酸性電解水NaCl	69.6	21.8	50.0	24/01/01 12:00:00
4	24/10/09 6:28:24	1	微酸性電解水NaCl	51.6	21.8	50.0	24/01/01 12:00:00
5	24/10/09 6:28:04	1	微酸性電解水NaCl	51.6	21.8	50.0	24/01/01 12:00:00
6	24/10/09 6:22:14	1	微酸性電解水NaCl	142.0	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
7	24/10/09 6:22:09	1	微酸性電解水NaCl	141.4	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
8	24/10/09 6:22:04	1	微酸性電解水NaCl	124.6	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
9	24/10/09 6:21:59	1	微酸性電解水NaCl	124.6	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
10	24/10/09 6:21:54	1	微酸性電解水NaCl	106.1	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
11	24/10/09 6:21:49	1	微酸性電解水NaCl	106.1	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
12	24/10/09 6:21:44	1	微酸性電解水NaCl	88.1	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
13	24/10/09 6:21:39	1	微酸性電解水NaCl	88.1	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
14	24/10/09 6:21:34	1	微酸性電解水NaCl	69.6	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
15	24/10/09 6:21:29	1	微酸性電解水NaCl	69.6	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
16	24/10/09 6:21:24	1	微酸性電解水NaCl	51.6	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
17	24/10/09 6:21:19	1	微酸性電解水NaCl	51.6	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00
18	24/10/09 6:21:14	1	微酸性電解水NaCl	33.7	21.8	OFF	24/01/01 12:00:00

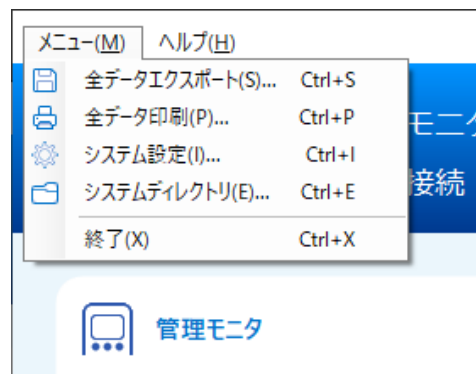
## 《データ削除方法》

測定結果表をクリックすると、その行全体が選択されます。ドラッグで範囲選択もできますので、削除したい行を選んで「Delete」キーで削除することができます。

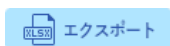
## 印刷



データ表示エリアの測定結果表を印刷します。印刷したい行を範囲選択することで、指定した行のみ印刷することが可能です。またメニューから「全データ印刷(P)...」を選択することで、表示されている全てのデータを印刷します。印刷プレビューウィンドウが開きますので、印刷イメージを確認して印刷してください。



エクスポート



データ表示エリアの測定結果表を [XLSX 形式※1](#) または [CSV 形式※2](#) でエクスポートします。エクスポートしたい行を範囲選択することで、指定した行のみエクスポートすることが可能です。またメニューから「全データエクスポート(S)...」を選択することで、表示されている全てのデータをエクスポートします。ファイル保存ダイアログが開きますので、保存するディレクトリ、ファイル名、エクスポート形式（既定値は年月日時分秒 12 桁.拡張子）を設定して保存してください。なおこの時に保存したディレクトリで次のダイアログが開きます。（エクスポートボタンのアイコンで標準のエクスポート型式が判別できます）

システム設定

メニューから「システム設定(I)...」を選択することで、標準のエクスポート形式、エクスポートするディレクトリ、および印刷するプリンターの設定をすることができます。

※エクスポート形式はファイル保存ダイアログで、保存時に個別指定できます。なお XLSX 以外の拡張子を指定するとテキスト形式になります。

※「出力 DIR」は、最後にエクスポートしたディレクトリが設定されます。



システムディレクトリ

メニューから「システムディレクトリ(E)...」を選択することで、Windows のエクスプローラからシステムディレクトリを開きます。ファイルの整理やバックアップなど、メンテナンスにお役立てください。

モニタ設定を表示・変更する



モニタ設定ボタンをクリック

管理モニター一覧のモニタパネルから「 モニタ設定ボタン」をクリックすると、データ表示エリアにモニタ設定画面が表示されます。モニタが接続中のとき、この画面から[測定設定変更](#)・[動作設定変更](#)が行えます。なおモニタを接続していないときは、PC に保存されたモニタ設定データを参照することができます。




## モニタ管理名変更 モニタ設定 IWAKI PR Series

モニタ管理名を変更します。PR モニタを複数使用している場合などに、工程や現場名など管理しやすい名称を付けることができます。なおこの名称設定※6は、接続の有無にかかわらず変更することができます。

## 測定設定変更

モニタが接続中のとき、各 [spot※3](#) の設定を変更します。PR モニタを使用する spot に合わせて、測定モード・校正モード・下限設定値のパラメータを変更することができます。また各 spot の測定設定を校正データごとコピーする校正データコピー機能を実装しています。それぞれの設定の詳細については、PR モニタ取扱説明書を参照してください。

## 動作設定変更

モニタが接続中のとき、モニタの動作設定を変更します。ブザー音・バックライト点灯時間・オートパワーオフ時間・spot 数のパラメータを変更することができます。またパソコン時刻同期を有効にすると、モニタ設定読出し時（モニタパネルの「 モニタ設定ボタン」を押したとき）にモニタの日時設定をパソコンの時計に同期する事ができます。なおこの設定切替え※6は、モニタ接続の有無にかかわらず変更することができます。

## 設定送信



モニタ設定画面で変更したパラメータを、モニタ本体に送信します。モニタ設定を変更しても、設定送信するまで本体の設定には反映されません。モニタ設定に変更が有り、設定送信していない状態でこのモードから遷移しようとする、確認ウィンドウが表示されます。

## 校正データコピー



元となる spot の校正データ・測定モード・校正モード・下限値設定を他の spot にコピーすることができます。

## メモリクリア / 校正值初期化



全ての spot または選択した spot に対し、それぞれ「データメモリクリア」「校正值初期化」を行います。

## アプリケーションを終了する

アプリケーションの右上「×」ボタンをクリックするか、メニューから「終了(X)」を選択することでアプリケーションを終了します。



## 注記

- ※ 1 Microsoft Excel において標準で使用されるファイル形式です。ISO/IEC29500 として標準化されており、Excel 以外でも多くの表計算ソフトで対応しています。
- ※ 2 各データがカンマで区切られたテキスト形式のデータファイルです。Microsoft Excel でインポートが可能です。またテキストエディタなどで開くことができます。
- ※ 3 PR モニタは残留塩素濃度を測定する場所 (spot) に合わせ、最大 5spot の設定を個別に持つことができます。
- ※ 4 測定待機状態とは、モニタ画面が測定中・洗浄モード・CAL・設定以外の画面です。USB による通信が可能な状態で、前述の画面のときは通信エラーとなります。
- ※ 5 本器を初めて PC に接続した際に、USB 接続するためのデバイスドライバが PC にインストールされない場合は、ご使用 PC のシステム管理者にご相談ください。
- ※ 6 アプリケーション専用の設定であるため、モニタ本体のパラメータには影響を与えません。モニタが未接続の状態でも変更することができます。

## 利用規約・免責

- 1) 本アプリケーションを使用して発生した、いかなる損害及び問題につきましても当社は一切の責任を負いません。また発生した不具合について当社は修正の責を負いません。また、いかなる場合においても本アプリケーションをご利用いただいている場合、「利用規約・免責」を承諾していたいたものとします。
- 2) 本アプリケーションは、ポータブル残留塩素濃度計 PR シリーズのデータメモリ機能により自動生成された測定データの表示、印刷および XLSX 形式または CSV 形式でのエクスポートに使用することができるプログラムです。他の用途に使用することはできません。
- 3) 本アプリケーションおよび添付ドキュメントの著作権および所有権は株式会社イワキにあります。弊社に無断で全部もしくは一部をコピーすることは法律で禁じられています。
- 4) 本アプリケーションにより作成された制作物を第三者が閲覧することができる出版物に掲載する場合は、事前に、必ず弊社までご連絡ください。

## 動作推奨環境

OS	: Windows 11
CPU	: Intel Core i5 以上
メモリ	: 8Gbyte 以上
ディスプレイ	: 1920 x 1080pixel 以上



